

平成 20 年度

事業報告書

財団法人浜松国際交流協会

事業実施の背景と方針

平成 20 年度、浜松市においては外国人集住地域として多文化共生の社会づくりを一層リードしていくことが求められ、「浜松市国際交流センター」を 7 月から「浜松市多文化共生センター」として名称変更し、より一層地域の多文化共生社会づくりに焦点をあてた取り組みを行うこととなった。特に、外国人集住地区における地域共生モデル事業を重点事項として掲げ、地元へ出向くというこれまでにない新しい姿勢が地域に新たな風を吹き込みつつある。また、国政でも「生活者としての外国人」としての外国人施策が各省庁でまとめられ、当協会では文化庁から 4 本の事業を受託し、日本語学習環境整備事業の一環として行った。

重点事業	地域共生モデル事業（市委託事業） 日本語学習環境整備（文化庁委託事業） <ul style="list-style-type: none">・ 地域日本語教育支援事業・ 外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発・ 日系人等を活用した日本語教室の設置運営事業・ 日本語能力を有する外国人を対象とした日本語指導者養成事業
------	---

秋以降、アメリカの金融危機に端を発した世界同時不況により、輸出産業である輸送用機器をはじめ多くの産業が深刻な打撃を受けた。そのため、派遣という形態で雇用されていた多くの外国人が職を失い、さらには住居を失う者もおり、外国人住民の生活の安定という根本的な条件が崩れ、先行きが不透明となっている。そこで、緊急経済対策として浜松市をはじめ、静岡県、国などが様々な対策を講じることとなり、当協会においてもその一環として求職者のための日本語教室や外国人相談員の増強、ハローワークや労働基準監督署と連携したワンストップ相談センターの発足など素早い動きで対応を図ることとなった。

緊急経済対策事業	求職者のための初級日本語教室（市委託事業） 介護のための日本語教室（文化庁委託事業） 外国人のためのワンストップ相談コーナー がんばれ・ブラジル人会議 定住外国人就業橋渡し事業（県委託事業）
----------	---

また、当協会を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、各機関・団体と一層の協力関係を築きながらより効果の高い事業展開を目指してきた。現在、早期回復の目処が立たない厳しい社会経済情勢の中、当協会の果たすべき役割も時代の変化に即応して柔軟に変えていくことが求められている。

多文化共生社会の構築

国

企業

関連機関

大学

●在住外国人支援

日本語教室
各国語による相談
外国人子ども教育支援事業
外国人コミュニティ支援
中国残留邦人支援

重点分野

日本語学習環境整備（文化庁委託）
・地域日本語教育支援事業
・企業日本語カリキュラム開発
・日系人等を活用した日本語教室
・バイリンガル日本語教師養成
緊急経済対策
・求職者のための日本語教室
・介護のための日本語教室
・ワンストップ相談センター

●国際理解・交流の推進

国際理解教育
外国語講座
交流イベント

重点分野

地域共生モデル事業
・地域多文化共生会議
・ブラジル人向けセミナー

●国際ボランティア・市民活動支援

日本語ボランティア養成
ボランティア研修
助成金
セミナー・ルームの貸出し

●情報提供

HICE NEWS
CIR NEWS
ホームページ
情報コーナー
海外体験フェア
図書コーナー

浜松市多文化共生センター
(08年7月)

●経営の健全化●

会員増強（賛助／個人）

HICE の特色を活かす

費用対効果の増大

日本語学習環境整備（文化庁委託事業）

1 地域日本語教育支援事業

委員会	地域日本語連携推進協議会
概要	地域と企業と行政の連携による外国人労働者に対する日本語教育支援の充実と促進を図ることを目的とし、ヤマハ発動機株式会社 IM カンパニーとヤマハファインテック株式会社の日本語教室をモデルに、具体的な施策とその課題について協議を重ねた（全4回、うち1回は公開シンポジウム）。
期間	平成20年7月1日～平成21年3月31日
成果	平成21年2月14日(土) 日本語ボランティアセミナーにおいて成果を発表
委員長	庄田 武（日本語ボランティアセミナー実行委員会委員長）
委員	石岡 修（ヤマハ発動機株式会社 IM カンパニー事業推進部長） イシカワ エウニセ アケミ（静岡文化芸術大学文化政策学部准教授） 高見 成保（ヤマハファインテック株式会社 管理部長） 高貝 亮（弁護士） 森 重信（浜松商工会議所 理事・事務局長） 春原 憲一郎（財団法人海外技術者研修協会日本語教育センター長） 宮司 恭子（浜松日本語センター所長、HICE 日本語ボランティア養成講座講師） 村木 恵子（浜松市企画部国際課長）
オブザーバー	安井 寿男（浜松市企画部参与）

2 外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発

委員会	企業カリキュラム開発検討委員会（下部組織として、調査部会、研究部会）
概要	外国人労働者を受け入れている企業における日本語教育の充実を図るためのカリキュラムを開発し、効果的な教室の運営について研究する。
期間	平成20年7月1日～平成21年3月31日
成果	企業内日本語教室の運営ノウハウの構築とカリキュラムの開発
委員長	春原 憲一郎（財団法人海外技術者研修協会日本語教育センター長）
委員	石岡 修（ヤマハ発動機株式会社 IM カンパニー事業推進部長） 高見 成保（ヤマハファインテック株式会社管理部長） 森 重信（浜松商工会議所理事・事務局長） 神吉 宇一（財団法人海外技術者研修協会） 宮司 恭子（浜松日本語センター所長） 米勢 治子（浜松学院大学現代コミュニケーション学部教授）

	中村 利恵子（日本語ボランティア） 永井 昌己（中日新聞東海本社報道部長） 安井 寿男（浜松市企画部参与） 川合 文男（財団法人浜松国際交流協会専務理事）
調査部会	犬塚 智子（ヤマハファインテック株式会社管理部管理課課長） 杉山 進（ヤマハファインテック株式会社モバイルコンポーネント事業部MC生産部MG生産課工長） 山崎 新一（ヤマハ発動機株式会社IMカンパニーマウンター生産グループ職長） 岩倉 成洋（調査員代表）
研究部会	神吉 宇一（財団法人海外技術者研修協会） 米勢 治子（浜松学院大学現代コミュニケーション学部教授） 石岡 修（ヤマハ発動機株式会社IMカンパニー事業推進部長） 山屋 宏（ヤマハ発動機株式会社IMカンパニー製造部担当部長） 高見 成保（ヤマハファインテック株式会社管理部長） 犬塚 智子（ヤマハファインテック株式会社管理部管理課課長） 中村 利恵子（日本語ボランティア） 松本 三知代（日本語ボランティア）
事業アドバイザー	柳澤 好昭（独立行政法人国立国語研究所日本語教育基盤センター長）
調査研究協力	金田 智子（独立行政法人国立国語研究所日本語教育基盤センター学習項目グループ長）
協力	ヤマハ発動機株式会社IMカンパニー、ヤマハファインテック株式会社、テイボー株式会社、有限会社ブリス、独立行政法人国立国語研究所、社団法人日本語教育学会

3 日系人等を活用した日本語教室の設置運営事業

委員会	日系人等を活用した日本語教室の設置運営委員会
概要	在住外国人の自立とコミュニティの確立を目指し、日本人住民との相互理解を深めるための積極的な交流活動と文化体験をすすめ、地域にとって効果的な日本語教室の運営と課題について協議。
期間	平成20年7月1日～平成21年3月31日
成果	北部公民館で「ブラジル人のための日本語教室」を設置し、社会教育施設である公民館にある既存団体の活動と日本語教室の活動を結びつけることで日本人と外国人の双方向からの生涯学習を見出すことができた。また、浜松市多文化共生センターで、主婦や来日間もない10代の子どもたちを対象に日本語や日本文化を学ぶことができる「フィリピン人のための日本語教室」を設置した。 上記2教室では地域住民に「おしゃべりボランティア」として参加していただき、学習

	者と日本語でのおしゃべりと文化交流を楽しむことができた。
委員長	池上 重弘（静岡文化芸術大学文化政策学部教授）
委員	清 ルミ（常葉学園大学外国語学部教授） 石川 和男（浜松市教育委員会学校教育部指導課長） 北村 八（浜松市萩丘地区自治会連合会長） 児玉 哲義（土道館師範、日系外国人代表） 古川 総一郎（浜松商工会議所業務部地域連携課長） 小粥 義雄（浜松市教育委員会学校教育部指導課主幹教育相談支援グループ長） 川合 文男（財団法人浜松国際交流協会専務理事）

日本語教室	ブラジル人のための日本語教室
概要	日本語能力を有するブラジル人が、同国出身者に対して日本語の指導と日本文化・習慣を教えることによって、外国人コミュニティの自立と生活支援を図った。
内容	第1期 日程：平成20年7月20日(日)～10月12日(日) 全9回 時間：14:00～16:00 会場：浜松市立北部公民館 講師：田村エミリオ、金城アイコ、中島イルマ、金城ジゼレ 受講者：初級25名、中級10名 第2期 日程：平成20年10月19日(日)～12月14日(日)全9回 時間：14:00～16:00 会場：浜松市立北部公民館 講師：田村エミリオ、金城アイコ、中島イルマ、金城ジゼレ 受講者：入門11名、初級7名、中級7名

日本語教室	フィリピン人のための日本語教室
概要	日本語能力を有するフィリピン人が、同国出身者に対して日本語の指導と日本文化・習慣を教えることによって、外国人コミュニティの自立と生活支援を図った。
内容	第1期 日程：平成20年7月18日(金)～9月19日(金) 全9回 時間：10:00～12:00 会場：浜松市多文化共生センター 講師：水口パズ、中村グレイス 受講者：初級17名 第2期

<p>日程：平成20年11月28日(金)～平成21年2月13日(金)全9回 時間：10:00～12:00 会場：浜松市多文化共生センター 講師：水口パズ、中村グレイス、藤田ダリア、牧野リナ 受講者：初級8名、中級21名</p>

4 日本語能力を有する外国人を対象とした日本語指導者養成事業

委員会	バイリンガル教師養成講座企画委員会
概要	高度な日本語能力を有する外国人が同国人に対する日本語指導者となり、外国人の社会的自立と意識向上をすすめることを目的としたバイリンガル教師養成講座を実施し、その効果的な運営のための内容と課題について協議。
期間	平成20年7月1日～平成21年3月31日
成果	バイリンガル教師養成講座では、フィリピン、ブラジル、ペルー、ベトナム、中国出身者ら13人が受講。バイリンガル教師は自らの学習経験と母国語を活かした指導ができることから、在住外国人の日本語習得と社会適応能力を伸ばすのに有効である。一方、彼らの存在は日本人への異文化トレーナーとしての役割を持つ可能性が高いことが分かった。
委員長	清 ルミ(常葉学園大学外国語学部教授)
委員	石井 恵理子(東京女子大学現代文化学部准教授) イシカワ エウニセ アケミ(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科准教授) 嘉数 勝美(国際交流基金日本語事業部長) 水口 パズ(フィリピン・ナガイサ代表) 野々山 勇(浜松ブラジル協会アドバイザー) 大杉 明彦(浜松市立遠州浜小学校長) 竹村 祐一(浜松市立開成中学校長) 近田 由紀子(浜松市立瑞穂小学校教諭) 櫻井 敬子(浜松市立遠州浜小学校教諭) 川合 文男(財団法人浜松国際交流協会専務理事)

教室	バイリンガル教師養成講座
概要	外国人コミュニティー及び若い世代のコミュニティーの確立と自立を図るため、外国人のための日本語教師養成講座を開催。
内容	日程：平成20年10月5日(日)～12月14日(日) 全12回 会場：浜松市国際交流センターほか 講師：清ルミ(常葉学園大学外国語学部教授)、生田守(国際交流基金)、坂本勝信(常葉学園大学外国語学部講師)、石井恵理子(東京女子大学教授)、イシカワエウニセ(静岡)

岡文化芸術大学准教授)、築島史恵 (国際交流基金) 受講者：13人 (ブラジル人5名、フィリピン2名、中国2名、ペルー2名、ベトナム2名)
--

地域共生モデル事業 (浜松市委託事業)

外国人集住地区において日本人住民と外国人住民の共生を推進するために、モデル地区を設定してニーズを探り、自治会や外国人コミュニティなどと協働で企画・運営して必要とされる事業を行った。今年度は遠州浜をモデル地区として設定し、自治会と協力してブラジル人向けセミナーを実施。その成果として、自治会の集会所において、自治会、NPO、HICEの連携の下、平成21年度に日本語教室を開催する運びとなった。

1 浜松市地域多文化共生会議

概要	浜松市多文化共生センターの事業内容の紹介をするとともに各区における外国人住民受け入れ状況についての意見交換を行い、今後の連携をはかる。
日時	平成20年10月22日(水) 10:00~11:30
会場	浜松市多文化共生センター
参加者	中区(区民生活課)、東区(区民生活課)、西区(区民生活課)、南区(区民生活課)、天竜区(区振興課)、浜松市(国際課)、(財)浜松国際交流協会

2 遠州浜地区における聞き取り活動(8月~12月)

静岡県住宅供給公社、(財)浜松市建設公社、遠州浜第一自治会、遠州浜第二自治会、遠州浜第三自治会、遠州浜第四自治会、遠州浜公団自治会

3 ブラジル人向けセミナー「ブラジル人と日本社会」

概要	浜松市多文化共生センターの事業内容の紹介をするとともに各区における外国人住民受け入れ状況についての意見交換を行い、今後の連携をはかる。
日時	平成20年12月14日(日) 14:00~16:00
会場	浜松市多文化共生センター
参加者	ブラジル人129人
講師	アンジェロ イシ(武蔵大学社会学部准教授)
内容	日本へのデカセギの20年を振り返り、在日ブラジル人は日本で何を得たのか、何が足りないのか、日本社会での役割は何かを語り、将来の見通しについて考えた。

4 ブラジル人向け出張セミナー「日本での私たちの暮らし」

概要	外国人集住地区の遠州浜地区で、地域に暮らす外国人に地域社会に積極的に関わっていく必要性を知ってもらう。自治会と協力して企画をすすめることで、自治会役員をはじめ地元住民の多文化共生への関心を高める。
日時	平成 21 年 2 月 1 日（日）14：00～16：00
会場	遠州浜中央公民館（第二自治会集会所）ホール
参加者	主に遠州浜在住のブラジル人 70 人
講師	イシカワ エウニセ（静岡文化芸術大学文化政策学部准教授）
内容	ブラジル人の日本での生活や将来の見通しについて、社会学者から客観的に語ってもらい、自らの生活や人生を見直すきっかけとした。
協力	遠州浜自治会連絡会

緊急経済対策事業

1 求職者のための初級日本語教室（浜松市委託事業）

概要	求職中の外国人のための日本語集中教育支援プログラムを1月から3月まで実施した。
（1月コース）	
日時	平成 21 年 1 月 7 日（水）～1月 21 日（水）10：30～12：00／13：00～14：30 全 12 回
会場	浜松市多文化共生センター他
参加者	43人
講師	中島ベアトリス、金城カチア、河合世津美、佐藤康代、中村利恵子
（2月コース）	
日時	平成 21 年 2 月 3 日（火）～2月 19 日（木）10：30～12：00／13：30～15：00 全 12 回
会場	浜松市多文化共生センター他
参加者	53人
講師	中島ベアトリス、金城カチア、針山摂子、佐藤景子、藤井和子
（3月コース）	
日時	平成 21 年 3 月 3 日（火）～3月 13 日（金）10：30～12：00／13：30～15：00 全 12 回
会場	浜松市多文化共生センター他
参加者	68人
講師	中島ベアトリス、田村エミリオ、河合世津美、佐藤康代、針山摂子

2 介護のための日本語教室（文化庁委託事業）

概要	文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業（日系人等を活用した日本語教室の設置運営事業）の委嘱を受け、介護のための日本語教室の設置運営委員会を設立。「介護のための日本語教室」の設置運営について日本語教育、介護福祉など各分野の専門家を委員として迎え協議を重ねた（全3回）。また、教室運営に関するワーキンググループ会議も開催。
介護のための日本語教室運営委員会	
委員長	西原 鈴子（東京女子大学教授）
委員	秋山 剛（NTT 東日本関東病院精神科部長） 春原 憲一郎（財団法人海外技術者研修協会日本語教育センター長） 石原 昌明（浜松市介護保険課主幹） 野々山 勇（浜松市人権擁護委員会委員） 中津川 俊郎（浜松市社会福祉協議会事務局次長） 足立 久夫（ハローワーク浜松相談員） 川合 文男（財団法人浜松国際交流協会専務理事）
事業協力	飯田 晃弘（介護福祉士） 山本 純（看護師） 静岡県介護保険室
ワーキンググループ	黒岩 美千子（社会福祉法人浜松市社会福祉協議会介護保険事業推進室室長） 石井 義久（社会福祉法人浜松市社会福祉協議会浜松市福祉人材バンク所長） 神吉 宇一（財団法人海外技術者研修協会 EPA 担当） 中村 利恵子（日本語教師） 土井 佳彦（とよた日本語学習支援システム担当） 山本 純（看護師）

介護のための日本語教室	
日程	平成21年2月12日(木)～3月12日(木) 全34回
会場	浜松市立南部公民館
講師	中村利恵子、金城カチア、畠山和加子、山本純（看護師）飯田晃弘（介護福祉士）
受講者	30人（ブラジル人19名、フィリピン8名、ペルー3名）

3 外国人のためのワンストップ相談コーナー

概要	急激な景気の後退を背景とした外国人労働者の雇用情勢の急激な悪化を踏まえ、ハローワーク、労働基準監督署、浜松市との連携の下、在住外国人のための総合相談コーナーを開設。
----	--

【就労相談】	
期間	平成20年12月～平成21年3月（火曜日～土曜日 9：00～17：30）
言語	日本語、ポルトガル語
期間	ハローワーク
【労働相談】	
期間	平成20年12月～平成21年3月（火、木、金 9：00～16：00）
言語	日本語、ポルトガル語
期間	労働基準監督署

4 がんばれ・ブラジル人会議

概要	急激な景気の後退を背景とした外国人労働者の雇用情勢・生活状況の急激な悪化を踏まえ、特に影響が大きいと思われる在住ブラジル人有志の団体が集まり、「がんばれ・ブラジル人会議」を立ち上げた。実態調査、情報提供、救援物資配布、チャリティイベント開催などを行った。
メンバー 団体	ありがとう日本、浜松ブラジル協会、ブラジル銀行浜松支店、ブラジルふれあい会、CAIXA 連邦貯蓄銀行日本駐在事務所、グループ・エスペランサ、浜松市、(財) 浜松国際交流協会
実態調査	期間 平成21年1月24日～2月13日 対象 浜松市在住ブラジル人 サンプル数 2773 方法 調査員による対面アンケート方式
情報提供	期間 平成21年1月16日～3月31日 内容 インターネットラジオによるポルトガル語番組の放送
救援物資	期間 平成1月28日～3月31日 内容 生活に困窮した人へ食料品を中心とした生活必需品の配布。
チャリ ティイ ベン ト	日時 平成21年3月15日（日）13：30～18：00 会場 アクトシティ 展示イベントホール 来場者 350人 内容 セミナー：浜松市（定額給付金について）、浜松市教育委員会、浜松市多文化共生センター、ハローワーク、ヘルパーについて（講師：向川明弘）、ヘルパー経験者（講師：サイト セリア）、体験談（講師：ウエズ アルシール） ブース：浜松市、浜松市教育委員会、HICE、ハローワーク浜松、浜松就職相談センター、浜松市社会福祉協議会、法律相談、浜松テクノカレッジ、グループ・エスペランサ

5 定住外国人就業橋渡し事業（県委託事業）

概要	失業した外国人の再就職を後押ししようと、静岡県と共催で3回にわたってセミナーを開催した。
【第一回】テクノカレッジ&企業見学ツアー	
日時	平成21年2月26日（木） 10：00～15：00
会場	静岡県立浜松技術専門学校（浜松テクノカレッジ）、カツヤマファインテック株式会社、村松精機株式会社
参加者	27人
【第二回】ブラジル人向けセミナー「日本で働くということ～私の選択～」	
日時	平成21年3月7日（土） 14：00～16：30
会場	浜松市多文化共生センター
講師	西田ひろ子（静岡県立大学国際関係学部教授）、カワバタ ノルマ
参加者	85人
【第三回】ブラジル人向けセミナー「ブラジルの現実、日本で生きるということ」	
日時	平成21年3月26日（木） 10：00～12：00
会場	浜松市地域情報センター
講師	三田千代子（上智大学外国語学部教授）
参加者	40人

1 在住外国人支援

(1) 日本語講座

①はじめての日本語

内容	在住外国人に対する日本語識字力習得の学習支援を行う講座を開催した。		
会場	浜松市多文化共生センター		
講師	HICE 日本語サポーター		
詳細	日時		参加者
第1期	昼間	平成20年4月5日～4月26日(土) 9:30～11:30 全4回	17人
	夜間	平成20年4月3日～4月24日(木) 19:00～21:00 全4回	7人
第2期	昼間	平成20年8月23日～9月13日(土) 9:30～11:30 全4回	13人
	夜間	平成20年8月28日～9月18日(木) 19:00～21:00 全4回	11人

②すぐに使える！日本語会話

内容	日本語会話能力初級～中級者を対象に日常生活における日本語コミュニケーションの必要が高い様々な場面で、すぐに使える日本語会話を学ぶ講座を開催した。		
会場	浜松市多文化共生センター		
講師	松葉優子、HICE 日本語アシスタント		
詳細	日時		参加者
第1期	平成20年5月13日(火)～7月15日(火) 10:00～12:00 全10回		32人
第2期	平成20年8月19日(火)～9月16日(火) 10:00～12:00 全5回		26人
第3期	平成20年10月14日(火)～12月16日(火) 10:00～12:00 全10回		33人
第4期	平成21年1月20日(火)～3月24日(火) 10:00～12:00 全10回		35人

③日常生活のための日本語教室（市委託事業）

内容	在住外国人に対する日本語習得の学習支援。初級者を対象に文法等を基礎から学ぶ講座を開催した。		
会場	浜松市多文化共生センター		
講師	河合世津美、増田恵子、松本三知代、佐藤康代、久澄絵美、中村利恵子		
詳細	日時		参加者
第1期	昼間	平成20年5月10日(土)～7月26日(土) 9:30～11:30 全12回	33人
	夜間	平成20年5月8日(木)～7月24日(木) 19:00～21:00 全12回	17人
第2期	昼間	平成20年10月4日(土)～12月20日(土) 9:30～11:30	32人

		30 全12回	
	夜間	平成20年10月2日(木)～12月18日(木) 19:00～21:00 全12回	18人
第3期	昼間	平成21年1月10日(土)～3月28日(土) 9:30～11:30 全10回	40人
	夜間	平成21年1月15日(木)～3月19日(木) 19:00～21:00 全10回	29人

④日本語教室コーディネーター

ヤマハファインテック(株)(平成20年10月から)、テイボー(株)(平成20年10月から)の外国人社員に日本語を教える講師の派遣等のコーディネーターを行った。

(2) 各国語による相談

① 外国人のための法律・生活無料相談会

内容	在住外国人が生活するうえで必要となる入国や在留手続きをはじめとする法的な問題に対応するための相談会を実施した。
日時	毎月最終木曜日(12月除く) 13:00～16:00 全11回
会場	浜松市多文化共生センター
協力	静岡県弁護士会、静岡県行政書士会
相談件数	96件
相談内容	ビザ、外国人登録、国際結婚・離婚、帰化、永住許可、労災・労働問題、年金、健康保険、生活保護、集合住宅、会社設立、運転免許等

② 外国人のための税務無料相談会

内容	在住外国人のために税務署、税理士会の協力のもとポルトガル語、英語通訳を配置し個人の所得税の還付等の税金に関する相談会を開催した。
日時	平成21年1月28日(水)～1月29日(木) 10:00～16:00
会場	浜松市多文化共生センター
共催	東海税理士会浜松東支部・西支部
協力	浜松東税務署・西税務署
相談件数	88件

③ 外国人のための生活相談(市委託事業)

浜松市国際交流センターにて各国語に対応する相談員を配置し、在住外国人のために情報提供や生活相談を行った。

言語	日時	相談件数
ポルトガル語	毎週火曜日～日曜日 10:00～17:00	5,362件
中国語	毎週火曜日 13:00～17:00	149件
スペイン語	毎週水曜日 13:00～17:00	265件
タガログ語	毎週木曜日 13:00～17:00	1,538件
英語	毎週火曜日～金曜日 10:00～17:00	146件
合計		7,460件

(3) 外国人コミュニティ支援

①EXPO ART 15

内容	在住外国人が描いた絵画や写真、オブジェを通じ異文化理解を深め、外国人市民と日本人市民の出会いの場となる芸術作品展を開催した。最終日には交流会を開き出展者同士の交流の場となった。
日時	平成21年3月3日(火)～8日(日)
会場	クリエート浜松ギャラリー35
出展者	49人
作品数	95点

②在住フィリピン人家族のための防災訓練

内容	普段、地震について入ってくる情報が少ない在住フィリピン人家族が防災対策について学ぶとともに起震車体験や消火訓練、救急医療訓練を行い、いざという時に備える訓練を開催した。
日時	平成20年5月18日(日) 13:30～15:30
会場	ギャラリーモール
講師	浜松市中区総務企画課、中消防署
参加者	102名

(4) 子ども教育支援事業

①外国人青少年のための就活セミナー

内容	ブラジル人とフィリピン人の16歳以上の子どもたちを対象に、自らの将来を見据えて今ある自分を振り返り、これからの進路を考えるためのセミナーを開催した。
日時	平成20年9月7日(日) 10:00～12:00
会場	浜松多文化共生センター
講師	山本テルマ(ブラジル人心理士)、ホナルド・シラミズ
参加者	18人

共催	ハローワーク浜松
----	----------

②就学前外国籍児童学校体験教室（ぴよぴよクラス）

内容	平成21年4月に日本の小学校に進学する外国籍児童を対象に、事前に学校体験をさせるとともに、ひらがなやカタカナなど簡単な日本語を学ぶことで子どもや親の不安を解消し、学校生活の適応力を身に付けさせるための疑似学級を開催した。
日時	3月23日（月）～27日（金）10:00～15:00
会場	浜松市立遠州浜小学校
支援者	静岡県立大学、浜松学院大学、愛知大学など15人
参加者	11人

（5）中国残留邦人支援事業（市委託事業）

内容	中国残留邦人に対する日本国の支援策の一環として、中国残留邦人の置かれている状況に理解が深く、中国語・日本語に堪能な支援員を各区に配置し、各区の福祉事務所職員と共に相談業務を行った。
期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
配置先	中区、東区、南区、北区
相談員	三井玲子、曾美真

2 国際理解・交流の推進

(1) 国際理解教育

① 開発教育指導者研修 in 浜松

内容	独立行政法人国際協力機構（JICA）の協力を得て、国際理解教育の指導者を養成するため初級編のワークショップを開催した。
日時	平成20年8月31日（日）10：00～16：30
会場	浜松市多文化共生センター
ファシリテーター	水島洋子（中学校教諭）、深沢和人（高等学校教諭）、石川郁恵（小学校教諭）、Jon Dujmovich（静岡文化芸術大学講師）、山口権治（高等学校教諭）、大石真理子（浜松市 J I C A デスク）
参加者	40人
共催	JICA 中部

② 国際理解教育教材開発「多文化共生を学び、地域をつくるための教材開発」

内容	外国人の子どもを対象とした日本語・教科指導などの支援だけでなく、受け入れ側の社会の変革を目指し、自ら多文化共生の地域づくりに主体的に参画する人材育成のために、知るだけでなく、理解し、行動にまで結びつく教材開発を、有志グループを中心に行った。
期間	平成20年4月1日～平成21年2月
実施体制	多文化共生教材作成プロジェクト委員会 メンバー：小学校教員1名、中学校教員1名、高等学校教員1名、元外国人子ども教育相談員1名、日系ブラジル人3世1名、元NGO職員1名、元青年海外協力隊員1名、浜松市 JICA デスク職員1名、(財)浜松市国際交流協会職員1名（合計9名）
対象	小学校高学年～社会人
内容	タイトル「考えよう！ともに生きる浜松の未来～はままつ多文化共生教材～」 第1部「知る」ブラジルへの移民の歴史と日本へのデカセギの事実 第2部「理解する」教室での受容とクラスづくり 第3部「地域をつくる」例えば防災をテーマに
対象現場	日本の公教育の現場、社会教育の現場など
体裁	A4判 一部カラー 全69ページ 500部発行
助成	自治体国際化協会による地域国際化協会等先導的施策支援事業による助成

③ 夏休み国際体験教室「新しい世界に出会う！」

内容	身近な在住外国人と実際に交流する機会を提供し、多文化共生に目を向けるきっかけを
----	---

	つくる。また、「地球人教育ボランティア講師」が実際に学校に派遣される前の事前研修の場とした。
日時	平成20年8月9日(土) 10:00~12:30
会場	浜松市多文化共生センター
対象	小学校5年生~中学生 12名
講師	シルバ ユキオ、金城ジゼレ、河内カミラ、喜久山リサ
プログラム	パワーポイントによるブラジルの紹介、クイズ形式による日本語になったポルトガル語の紹介、言葉の分からない体験、浜松のブラジル人学校の紹介、サンバの紹介(音楽紹介と楽器体験)、ブラジルのお菓子体験

④ 地球人教育出前講座(市委託事業)

内容	浜松市内の小中学校などを対象にし、国際理解教育のために、在住外国人やJICA青年海外協力隊OB/OGなどを講師として派遣した。
期間	平成20年4月1日~平成21年3月31日
対象	浜松市内の学校(小・中・高校・大学など)、市民講座、公民館など合計16か所にのべ25名を派遣

(2) 浜松学院大学文部科学省委託事業「多文化共生社会の構築に資する日本語教員養成プログラム」多文化共生論・連続公開講座

県内外から多文化共生に関し専門的知識を有する方を講師として招き、日本語教育が必要とされている背景や多文化共生についての総合的な知識を深める。また、公開講座として開催することで、多くの市民を対象に多文化共生への意識を高めると同時に、プログラムに対する認知の向上も目指した。

契約期間 平成20年4月1日~平成21年3月31日

会場 浜松市地域情報センター

	日時	講師及び演題	参加者
第1回	平成20年5月31日(土) 13:00~15:00	アンジェロ・イシ(武蔵大学社会学部准教授) 「多文化共生社会の目指すもの 新しい世代が変えていく社会」	100名
第2回	平成20年6月21日(土) 13:00~15:00	名嶋聰郎(弁護士) 「外国人の法律相談の現場から」	94名
第3回	平成20年7月5日(土) 13:00~15:00	中尾秀一(難民事業本部関西支部 支部長代行) 「難民と歩む社会を目指して」	79名
第4回	平成20年7月26日(土) 13:00~15:00	志水宏吉(大阪大学大学院教授) 「外国人の子どもたちの学力保障を考える」	160名
第5回	平成20年10月25日(土)	ペエ チュンド(川崎市ふれあい館館長)	56名

	13:00～15:00	「在日コリアンの歴史と多文化共生の地域づくり」	
第6回	平成20年12月13日(土) 13:00～15:00	ワン フィジン (多文化共生センター東京代表) 「外国人の子どもたちの高校進学支援と居場所づくり～たぶんかフリースクールの取組み～」	83名
第7回	平成21年1月24日(土) 13:00～15:00	近藤 敦 (名城大学法学部教授) 「世界の移民受け入れ最新事情 ～外国人の市民権の国際比較～」	73名
第8回	平成21年2月14日(土) 10:00～17:00	*日本語ボランティアセミナーの中で開催	

(3) 外国語講座

①実践！国際交流英会話講座

内容	国際交流に関する様々な場面において使用できる実践的な英会話を学んだ。		
会場	浜松市多文化共生センター		
講師	ケント・ハドロック (CIR)、エリック・ヘンリー (CIR)、ボニー・チョイ (CIR)		
詳細	日時		参加者
中級	昼間	平成20年5月15日～7月17日(木) 13:30～15:00 全8回	14人
		平成21年1月20日～3月10日(火) 13:30～15:00 全8回	10人
	夜間	平成20年5月14日～7月2日(水) 19:00～20:30 全8回	23人
		平成21年1月21日～3月18日(水) 19:00～20:30 全8回	16人
上級	昼間	平成20年10月30日～12月25日(木) 10:00～11:30 全8回	15人
	夜間	平成20年10月29日～12月24日(水) 19:00～20:30 全8回	30人

②英語で話してみよう会

内容	ネイティブ・スピーカーをコーディネーターとし、英会話のスキル・アップを目的とした会員向けの英会話サロンを開設した。
会場	浜松市多文化共生センター
日時	毎月1回 日曜日 13:30～15:00 (全12回)
講師	アメリカ、ペルー、カナダ、インド出身等の英語講師
参加者	149人

③キャサリンと英語で料理！

内容	料理を通して講師の出身国の文化や食習慣に触れることができた。
会場	南部公民館

日時	平成20年5月30日(金)
講師	キャサリン・ワイルド(CIR)
参加者	10人

④HICEブッククラブ

内容	英語の読解力向上を目的として英書を読み、さまざまなテーマについて話し合うサロン形式の講座を開催した。
会場	浜松市多文化共生センター
日時	平成20年6月4日～7月16日(水) 10:30～12:00 全7回
講師	キャサリン・ワイルド(CIR)
参加者	16人

⑤ 実践！国際交流ポルトガル語講座

内容	ブラジル人人口の増加する浜松市において日常的に使用される場面も多くなるポルトガル語について、入門・初級レベルおよび中級レベルを学ぶ講座を開催した。		
会場	浜松市多文化共生センター		
講師	鈴木益子		
詳細	日時		参加者
入門～初級	昼間	平成20年5月14日～7月16日(水) 13:30～15:00 全10回	23人
		平成20年10月15日～12月17日(水) 13:30～15:00 全10回	11人
	夜間	平成20年5月16日～7月18日(金) 19:00～20:30 全10回	30人
		平成20年10月14日～12月16日(火) 19:00～20:30 全10回	24人
中級	昼間	平成20年5月13日～7月15日(火) 19:00～20:30 全10回	30人
	夜間	平成20年10月17日～12月19日(金) 19:00～20:30 全10回	19人

⑥使ってみよう！ポルトガル語

内容	ポルトガル語中級者を対象に、ブラジル文化についてポルトガル語で会話したり読み書きしたりして理解を深めた。
----	--

会場	浜松市多文化共生センター
講師	鈴木益子
日時	平成20年11月5日～11月19日(水) 19:00～20:30 全3回
参加者	9人

⑦初級者のための中国語

内容	中国語会話講座の入門編を開催した。
会場	浜松市多文化共生センター
講師	趙驕陽
日時	平成20年10月14日～12月16日(火) 19:00～20:30 全10回
参加者	10人

⑧テレビドラマから始める韓国語

内容	韓国語会話講座の入門編を開催した。
会場	浜松市多文化共生センター
講師	松浦礼子
日時	平成20年10月10日～12月12日(金) 10:00～11:30 全10回
参加者	5人

⑨初級者のためのスペイン語

内容	スペイン語会話講座の入門編を開催した。
会場	浜松市多文化共生センター
講師	フクダ ヒロシ
日時	平成20年10月16日～12月18日(木) 19:00～20:30 全10回
参加者	9人

(7) 各種交流イベント

① HICE・浜松市多文化共生センター移転記念パーティー

内容	会員とボランティアの方に、新しいセンターのお披露目とこれまでのご協力への感謝をこめてパーティーを行い、会員、ボランティア間の交流を図った。
会場	浜松市多文化共生センター
日時	平成20年11月16日(日) 14:00～16:00
参加者	62人

② ゆかたおしゃれコンテスト

内容	YUKATAフェスタはままつで行われたコンテストに外国人の部を設け、在住外国人や外国人旅行者が日本文化に触れる機会を作った。
会場	ギャラリーモール
日時	平成20年7月6日(日) 17:00~20:30
参加者	26人

③ 異文化わくわくサロン

【オリンピックを楽しむ中国語サロン】	
内容	中国語のあいさつや競技名、応援用語、国名などを習ったほかに中国の習慣について話を聞いたりした。
会場	浜松市多文化共生センター
日時	平成20年7月20日(日) 13:30~15:00
講師	趙 騎陽
参加者	14人

【異文化わくわくブラジルツアー】	
内容	高校生をターゲットにしたイベントを開催し、若い層の国際交流への興味を高めることを目的とし、ブラジル文化を紹介した。
会場	ブラジルのレストラン、スーパーマーケットほか
日時	平成20年10月11日(土) 10:00~14:30
参加者	10人

【異文化わくわくバスツアー】	
内容	外国人市民と日本人市民がバスに同乗。日帰り旅行を行うことで日本語や英語、ポルトガル語を交えた会話や同じ経験をすることで相互理解を深めた。
行き先	横浜中華街と海外移住資料館
日時	平成20年8月2日(土) 7:30~20:00
参加者	外国人20人、日本人22人

④ ホームステイ・コーディネーター

依頼者	静岡大学国際交流センター
期間	平成20年6月6日(金)~8日(日)
参加者	人数: 5人 ホスト: 5家庭

依頼者	マッキロップ高校（オーストラリア）
期間	平成20年9月26日（金）～28日（日）
参加者	17人 ホスト：17家庭

依頼者	浜松国際ピアノアカデミー
期間	平成21年3月6日（金）～3月16日（月）
参加者	2人 ホスト：1家庭

（8）日伯交流100周年記念「ブラジルをもっと知ろう！」

日伯交流100周年を記念し、ブラジルの新たな一面を知りブラジルに対するイメージを変えることを目的とした講座を開催。様々な観点からブラジルの文化と産業を紹介し、市民に対して浜松・日本とブラジルの相互関係を考える機会を提供し、多文化共生社会に向けたより草の根的な意識啓発となった。

【第1回】「ブラジルの旋律を楽しもう」	
概要	ブラジル音楽の歴史を振り返り、サンバやボサノバが生まれた経緯や発展について学んだ。ブラジル人ミュージシャンによる生演奏もあり、ブラジル音楽を体感することで、音楽を通じてブラジル文化を楽しんだ。
日時	平成20年9月14日（日）14:00～16:00
会場	フォルテ8階A会議室
講師	細川周平氏（国際日本文化研究センター）
ゲスト	AS EM DOIS（ブラジル人ミュージシャン）
参加者	42人

【第2回】「世界を支える食糧大国ブラジルのアグリビジネス」	
概要	ブラジルのアグリビジネスについて、専門的なデータをもとに国際政治・政策を含めて学んだ。ブラジルが世界の食糧ビジネスにおいて、どの程度重きを置いているのか、具体的に説明していただいた。
日時	平成20年11月16日（日）10:00～12:00
会場	アクトシティ浜松コンgresセンター43・44会議室
講師	小池洋一氏（立命館大学教授）
ゲスト	ブラジル人農家 2人
参加者	66人

【第3回】「世界に誇る高度技術 ブラジルのバイオテクノロジー」	
概要	ブラジルのバイオエネルギー開発技術は、世界トップクラスにあるということ

	から、ブラジルのエタノール技術開発を中心に、その経済を生みだすに至ったバイオエネルギー政策と課題について学んだ。
日時	平成 21 年 2 月 28 日（土）10:00～12:00
会場	浜松市多文化共生センター
講師	小泉達治氏（農林水産省農林水産政策研究所主任研究官）
参加者	25人

3 国際ボランティア・市民活動の支援

(1) 日本語ボランティア養成講座

①日本語を教える人になりたい！

内容	日本語ボランティアの活動に興味のある人を対象に、日本語ボランティアになるためのガイダンス講座を開催した。
会場	浜松市国際交流センター
日時	平成20年4月19日(土) 14:00~15:30
講師	米勢治子(浜松学院大学現代コミュニケーション学部教授)
参加者	42人

②日本語ボランティア養成講座

内容	日本語ボランティアになりたい人が日本語を教えるために必要な知識として必要な知識(文法、教授法など)を学ぶための講座を開催した。
会場	浜松市国際交流センター
日時	平成20年5月17日(土)~8月9日(土) 14:00~17:00 全12回
講師	原沢伊都夫(静岡大学国際交流センター教授)、袴田麻里(静岡大学国際交流センター准教授)、宮司恭子(浜松日本語センター所長)、横内美保子(浜松学院大学現代コミュニケーション学部教授)、松葉優子(HICE「すぐに使える!日本語会話」講師)
参加者	32人

③日本語ボランティアスキルアップ連続講座

内容	日本語ボランティア教師養成講座修了者や日本語ボランティア活動経験者が対象。企業内や地域での日本語教室において、誰もが参加しやすい教室や学習者から会話を引き出す工夫について学ぶ講座を開催した。
会場	浜松市国際交流センター
日時	平成20年10月18日(土)~11月1日(土) 14:00~16:00 全2回
講師	神吉宇一(財)海外技術者研修協会(AOTS)日本語課日本語専門員 澤田幸子(財)海外技術者研修協会関西研修センター日本語講
参加者	39人

④シニアから始める日本語ボランティア養成講座

内容	ゲストや講師を招き実体験やボランティアになった経緯を伺ったり、学校の実態から日本語ボランティアの必要性、外国人の子どもたちに対する学習支援についての課題、異
----	--

	文化について学んだ。
会場	浜松市国際交流センター
日時	平成20年10月17日(金)～12月18日(木) 14:00～15:30
講師	原沢伊都夫(静岡大学国際交流センター学生交流部門教授)ほか公立小学校教員
参加者	21人

⑤日本語ボランティアセミナー

内容	「地域」と「連携」をテーマに地域を構成するすべての人が組織や職位を超えて、外国人の日本語学習支援に関わることで、良好な人間関係づくりと豊かなコミュニケーションを生むというこ とを発表し、会場一体型のセミナーを開催した。
会場	アクトシティ浜松コンgresセンター 41 会議室
日時	平成21年2月14日(土) 10:00～17:00
内容	シンポジウム 「地域における日本語教室 ～地域と企業と行政の連携～」 コーディネーター 西原鈴子(東京女子大学現代文化学部教授) 登壇者 高見成保(ヤマハファインテック株式会社管理部部长) 安井寿男(浜松市企画部参与 多文化共生担当) 松本三知代(日本語ボランティア講師) ナルサワ イタラ(外国人学習者) 基調講演 「漢字の学習と日本語ボランティアの役割」 講師 西口光一(大阪大学留学センター教授) パネルディスカッション 「これからの日本語教育 ～バイリンガル教師による新たな取り組みと可能性～」 コーディネーター 西原鈴子(東京女子大学現代文化学部教授) 登壇者 水口パズ(フィリピンナガイサ代表/フィリピン人バイリンガル日本語講師) 金城アイコ(ブラジル人バイリンガル日本語講師) 清ルミ(常葉学園大学外国語学部教授) 金田智子(国立国語研究所日本語教育基盤情報センター)
参加者	230名

(2) ボランティア研修

①英語通訳ボランティア・スキルアップ講座

内容	英語通訳のノウハウや通訳のための学習方法等を紹介し、通訳ボランティアのためのスキルアップを目的とした講座を開催した。
----	--

会場	浜松市国際交流センター
日時	平成20年4月6日(日)～4月20日(日) 13:30～16:00 全3回
講師	石黒ひとみ(通訳)
参加者	30人

②多文化ソーシャルワーカー養成講座(市委託事業)

内容	在住外国人の定住化に伴い生活の全方面での相談が求められている状況の下、通訳や相談員として各機関に配属されている人材を対象に、ソーシャルワークの素養を身につける機会を提供した。
会場	浜松市国際交流センター
期間	平成21年2月3日～3月10日(毎週火曜日) 18:30～20:30 全6回
参加者	40名(ブラジル、ペルー、フィリピン、中国、日本)
内容	「ソーシャルワーカーの仕事と対人援助手法について」 菅ヶ瀬容子(聖隷三方原病院医療相談室長) 「DVと支援方法」永井順子(S&Sネットワーク共同代表) 「児童虐待と子育て支援」浜松市児童相談所 「弁護士相談の実際」黒柳安生(弁護士) 「精神的ケアについて」二宮貴至(浜松市精神福祉保健センター所長) 「課題の共有と今後の協力体制に向けて」

(3) 市民活動の支援

①海外交流活動支援制度助成金(補助事業)

国際交流への認識を深め、民間レベルの国際交流・国際協力・国際理解を促進することを目的とし、市民団体の自主的かつ創造的な国際交流活動を行った団体に対し助成金を交付した。

②外国人市民ボランティア・文化活動支援助成金(補助事業)

国際交流への認識を深め民間レベルの国際交流・国際協力・国際理解を促進することを目的として、外国人市民の自主的かつ創造的な国際交流活動を行った8団体に対し助成金を交付した。

(4) セミナールームの貸し出し

内容	国際交流関係団体等が行う事業や会議に対して無料でセミナールームを開放するとともにHICE事業の場として活用した。				
貸出件数	394件	HICE利用件数	613件	利用者数	19,415人

4 情報提供事業

(1) 機関紙 HICE NEWS

HICE の活動や国際交流に関する情報を提供する機関紙「HICE NEWS」（日本語版、英語版・ポルトガル語版）を発行した。

発行部数：日本語 2,200部、ポルトガル語 2,400部、英語 700部

(2) CIR NEWS

国際交流員（CIR）による国際理解のためのメールマガジンを英語と日本語の並記で発信した。（年12回配信）

(3) インターネット HICE

HICE の活動や国際交流に関する情報を提供、関係団体事業へのリンク集などを備えた多言語（日本語、英語、ポルトガル語）ホームページを運営した。

(4) 多文化共生情報コーナー

市民及び来訪する外国人等が集い交流する場である浜松市多文化共生センターの管理運営を行うとともに以下の事業を実施した。

所在地 浜松市中区砂山町 324-8 第一伊藤ビル 9階

開館日 週6日間（月曜日並びに祝日・休日及び年末年始を除く）

開館時間 午前9時～午後5時30分

開館日数 合計300日

年間利用者数 37,877人（来所、電話含む）

①情報提供カウンター（市委託事業）

情報提供ボランティアの協力により、来訪者への国際交流等の情報提供を行った。

②在住外国人のための相談・情報提供（市委託事業）

外国語や外国事情に精通した相談員を配置し在住外国人のための生活相談や浜松での暮らしに必要な情報提供を行った。

③コミュニケーション・ボード

利用者が気軽に互いのニーズにあわせて各種の情報交換することができるスペースを提供。また、掲示依頼を受けた国際交流関連のイベントポスター等も掲示し各種活動の周知を図った。

④パンフレット・スタンド

HICE NEWSをはじめ、各種パンフレット等を提供するスタンドを設置し国際交流・協力に関わる多彩な情報提供を行った。年間情報提供件数 10,833件

⑤図書コーナーの運用

浜松市多文化共生センターにて、日本語習得・外国語習得のための書籍をはじめ、国際理解関係書籍やVTRを所蔵する図書コーナーを設置し、一般に開放するとともに、会員への貸出しを行った。

(5) 海外体験フェア

内容	海外留学や JICA のブース出展を行い、留学や海外ボランティアについての最新の情報を提供した。
会場	浜松市多文化共生センター
期間	平成20年11月30日(日)
出展者	アズ留学センター、JAAC 日米学術センター、JICA 中部
参加者	14人